

「みずびとくしよん」

とらのあな限定小冊子

ひげなむち



「えー… ちょ撮るの？ 本当に？ …見せるんだよね？ アキラに……」

「んー？ どした？ いつも見てもらってるじゃないか、直接」

「いやなんか…逆に居ないからその緊張するってゆーかあ…」

ガタ

「ふたりつきりでするのも別に初めてじゃないだろう？」

「やー…だからさ。アタシ達二人だけだと…ほらノリ…違っじゃない？」

「それ見られんのがさ…その」

「まあまあそういうのが見たいんだよ アキラ君は」

ガタ

ガタ
ガタ

「……むー
あーの変態めえ…」

「それに撮影を条件に今回ユキちゃんを貸し出してもらったんだから今更…ね」

「…はあ 私はモノじゃないんだけどなー」

「そうだね。…だからユキちゃんにもこの旅行付いて来てくれるかちゃん…と聞いたよね？」

「うれしいよ。一緒にきてくれて」

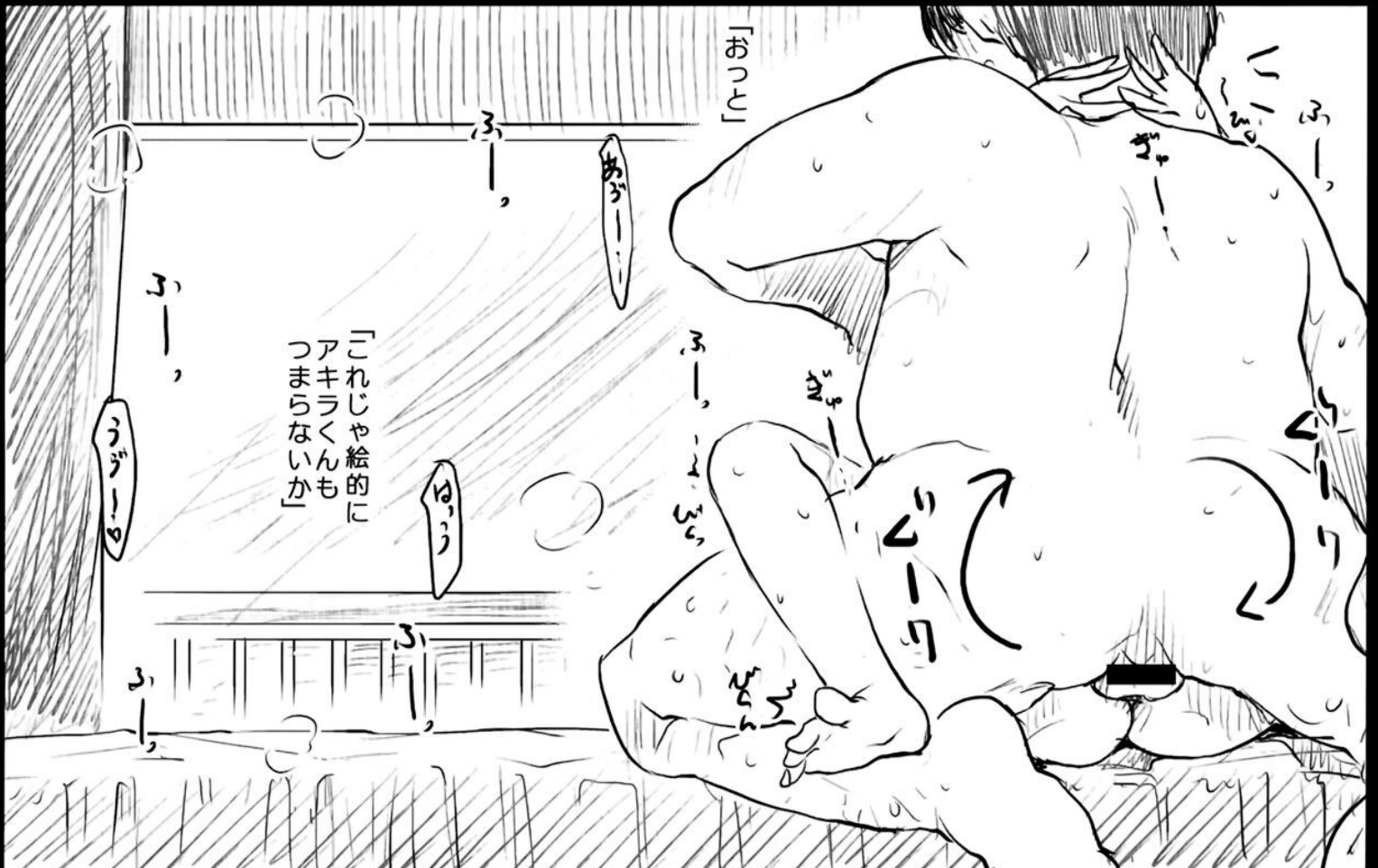
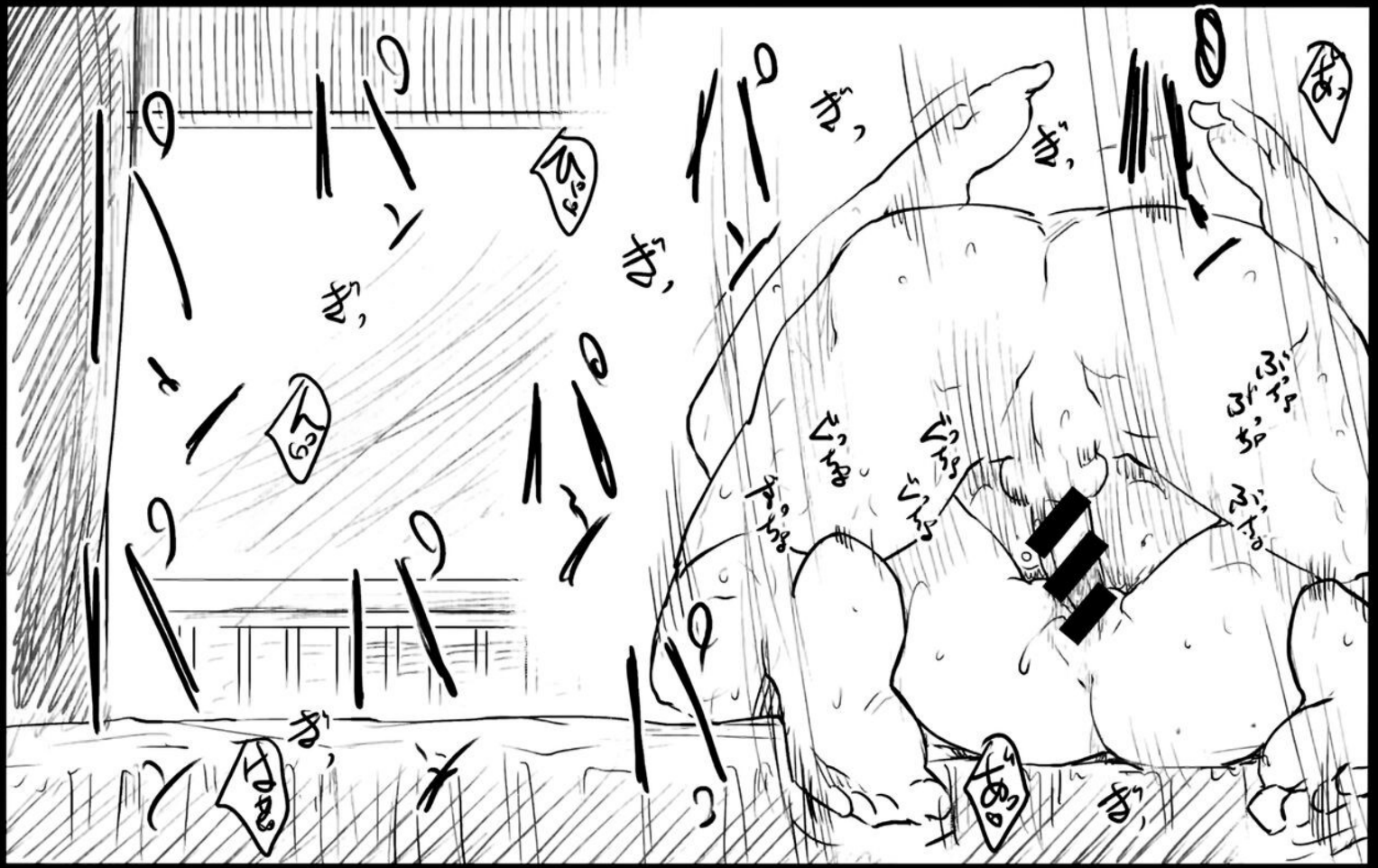
「…だつてさー？ 豪華海外旅行だつて言うしさー？」

「…それにホントに後でアキラと来る分のお金も出してくれるんだよね？」

「もちろん。旅費は全額持つし部屋だつてとつといてあげるよ」

「今回と同じ部屋を…ちゃんとなね」

い





「これでいいかな？」

「さてどうだい
「キちゃん？」

「おじさんのちんぽ
おいしいかい？」

「あはっ
あめあめ」

「うんっ」

「彼氏よりも
断然数多く
突っ込まれて」

「何度も何度も
食べてるのに
飽きてないのかい？」

「あきないっ」

「せんぜん
あきないよあしっ」

「あしっ
きもちいいからあ」

「彼氏に感謝しなきゃね？」

「ふえ？」

「浮気ちゃんぽ許してくれるの
なんて彼氏くんくらいだよ？」

「んっ うんっ」

「ほっ もっいいだろっ」

「彼氏にお礼いいながら」

「ラーメン味わいながら」

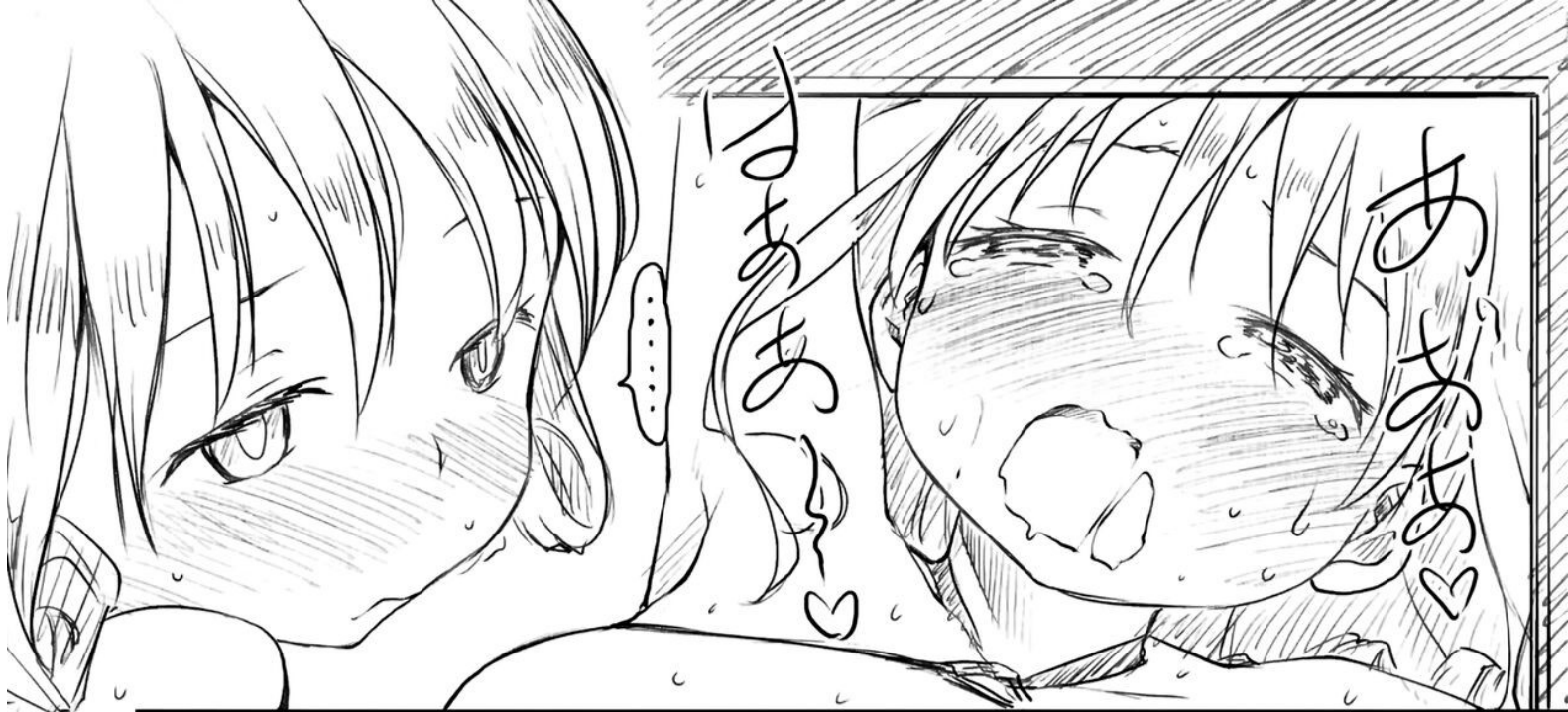
「思いつきひいきな女」

「あし」

「あし」

「あし」

「あし」



あーあーあー♡

あーあーあー♡



アタシ
アタシ
アタシ

アタシこんな声
出してたんだー
なんかすつこい
媚びまくってて
恥ずかしー...

え ええと...
あははー
やっぱなんか
照れちゃうね



フワッ
キキキキキキ!!

さあー♡



ええと...
こんなん
良かったのかな

結局おじさんに
全部任せちゃったん
だけど...